令和６年
年末

まめ大師尊通信

お寺からのお知らせ

第２号

～第２号発行にあたり～

年末が近づくにつれ、何かと小忙しい時期となりました。皆様、お変わりございませんでしょうか。

平素は、当寺の護寺運営にご協力いただき、誠にありがとうございます。この度前号に引き続き「まめ大師尊通信 第２号」を発行させていただきます。

第１号発行の際、皆様からの反響が想像以上に大きく、本当に有難い事だと感じております。まだまだ拙い文章ではございますが、今後も皆様のご期待に応えられる様、精進して参ります。

また、第１号について、お参りの都合上お渡し出来なかったお家がございますので、ホームページ上（*http://mamedaishi-son.com/*）にてご覧いただけます。良ければご覧ください。

お気付きの点や取り上げて欲しい事柄などございましたら、お気軽にお伝えください。

藤田　光雅

<まめ大師尊 メールアドレス>
mamedaishison@gmail.com

<まめ大師尊　公式ラインアカウント>
Line ID@977sxhkj

※メール、ライン共にすぐにお返事できない場合がございますので、緊急を要することやすぐにお返事が必要な場合は、お電話にてお願い致します

当寺本堂内

～当寺のお大師様について～

当寺の本堂にはたくさんの仏さまをお祀りしております。

先ずは本尊である「弘法大師（お大師様）」。

当寺の弘法大師尊像は平成７年１０月に開眼されました。もともとは小さなお大師様がお祀りされていた様ですが、先代住職の光淳師の発願により、お祀りしていたのお大師様を胎内仏（仏様の胎内にお納めする仏様）とし、今現在のお大師様を建立致しました。

当寺のお大師様の大きな特徴は「お姿がお若い」ということです。

今現在私たちが拝ませていただくお大師様のお姿は、お大師様のお弟子さまでいらっしゃる、真如親王が描かれた「弘法大師御影像」を根本としております。

当寺のお大師様も、この真如親王直筆の弘法大師御影像をもとに、加えて他のお大師様の尊像等のお姿を加味して、そして最終的には「大師青年像」として建立されました。

そのため、他のお大師様のお姿よりも若い印象を受けます。なお、製作いただいたのは長谷法寿仏師です。

詳細については長谷法寿仏師の仏像集「賢劫の千佛 長谷法寿佛像集Ⅰ」をご参照ください。

また、真如親王直筆の弘法大師御影像は、高野山内の壇上伽藍にある「御影堂」（みえどう）内にお祀りされております。なお年に一回、旧暦の３月２１日の「旧正御影供」の前夜に行われる「御逮夜法会」の後に、御影堂内外陣までお参りすることが出来ます。

（高野山真言宗金剛峯寺ホームページより一部参照）

～脇侍（わきじ）、脇仏（わきぶつ）について～

なお、仏さまをお祀りする際には、中央に御本尊をお祀りし、その左右両脇には御本尊に関係のある仏さまをお祀りします。この両脇の仏さまを脇侍（脇仏）といいます。

真言宗のお仏壇でも同じで、基本的なお祀りの仕方では、中央に御本尊の「大日如来」、そして脇侍として向かって左に「不動明王」、右に「弘法大師」をお祀りします。（もちろん、御本尊が違う場合や、違うお祀りの仕方もございます）

また、御本尊の仏さまによって脇侍はおおよそ決まっております。

当寺の場合、御本尊が「弘法大師」なので脇侍には「不動明王」と「愛染明王」と基本的には決まっております。

ただ、実はここに当寺の今後の課題の一つがございます。

「不動明王」は、先代住職が弘法大師尊像を新しく建立後に、お大師様に大きさ等をあわせて新しく建立し開眼致しました。

ただ、「愛染明王」については、引き続いて新しく建立することを志しておりましたが、先代住職が急逝してしまい、古い小さな愛染明王のままになっております。

そのため、先代の志を引き継ぎ、愛染明王を新しく建立させていただく事が、お寺の課題でもあり、希望でもあります。

中央が「不動明王」

左下が「愛染明王」

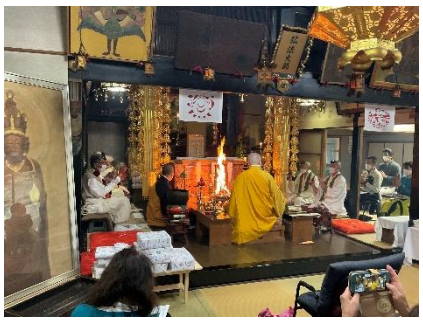
新年初護摩供
節分星祭護摩祈祷法要のご案内

＜新年初護摩供＞

令和７年１月２１日（火）１３時より

＜節分星祭護摩祈祷法要＞

令和７年２月２日（日）　１３時より



新年最初のお大師様のご縁日である１月２１日、そして暦の上での新年の前日になる節分**（令和７年は２月２日です）**に、護摩祈祷法要を行います。

この護摩法要では、「新しい一年が皆様にとってより良くなるように」とのご祈願を込めてお勤めさせていただきます。

なお、１月２１日、２月２日と御祈願の内容が異なります。

※１月２１日は、身体健康・交通安全・合格祈願・学業成就・商売繁盛
安産祈願・心願成就　などの諸祈願

※２月２日は、家内安全・厄除け祈願

ご祈祷料や申込み方法などの詳細は、同封の案内用紙をご参照下さい。

なお、両日にて、参拝の方々にはお一人お一人にご祈祷させていただきます。

また、２月２日法要終了後には粗品が当たる、「豆まき」を行いますので、お誘いあわせの上、ご参拝下さい。

～最後に～

今号も最後までお付き合いいただき、本当にありがとうございました。

今回も当寺のことを少しでも知っていただきたく、この様な内容とさせていただきました。

次号も自分なりにではございますが、皆様にお寺のことをお伝えできればと考えております。

末筆になりましたが、日々寒くなって参ります。どうか皆々様、お身体お大事にしていただき、ご自愛ください。　　合掌

高野山真言宗
まめ大師尊 弘法大師堂
〒522-0066
彦根市栄町２丁目５-２９
TEL　0749-22-5765
FAX　0749-27-8844